

今後の市町合併について

市町合併協議は白紙に 合併協議会は休止

彦根市長 中島 一

市町合併につきましては、平成14年8月に合併協議会を設置して以来、彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町との合併に向けて、合併した場合の新市のまちな姿をどのようにしていくかなどについて、1市3町がともに協議してきたところです。

しかし、そうした協議結果を表した「新市まちづくり計画」などをお示しして、去る2月に合併協議会が実施されました住民意向調査の結果、「望ましくない」などのご回答が多かったことから、市民の皆様のご意向

を尊重させていただき、このまま進めることは難しいと判断して、平成16年度予算のうち、市町合併関連の経費を皆減させていただくとともに、1月27日から取り組んでおりました市町合併電算システム統合事業につきましても、契約を解消し、本市といたしましてひとつの区切りをつけさせていただいてきました。

こうした考えのうえで、本市が置かれている現状、これは地方分権社会の進展により自己責任、自己決定の市政運営を図っ

ていかなければならないとき、三位一体改革が推進され財源の確保が難しいこと、また全国の市町村が合併により、都市の活力をつけていくなかで、全国の平均的なまちである本市の位置付けは、平均以下のまちとなり、活力と魅力を維持していくことが困難になること、さらに少子高齢化のいっそうの進展などの将来を見通したとき、まちづくりの一つの手段として、市町合併は必要と考えておりますこと

から、住民意向調査の結果を検討し、その結果、見直すべきこと

ころは見直しながら市民の皆様にご理解を得ていきたいと考えておりました。

しかしながら、市民の皆様からは、市長の考え方は「判りにくい」、「強力に合併を推進するの」、「住民意向調査の結果を踏まえているのか」などのお声をいただきました。

このことから、私は、この市町合併に係る合併協議につきましては白紙とし、今後改めて、市民の皆様や市議会とも協議させていただきながら対応していきたいと考えております。

また、去る3月24日に開催されました合併協議会におきましても、彦根市の状況および考え方を説明させていただき、合併協議会は、休止すること、その休止中に合併そのものは必要であり、住民との対話を深めてい

くことになりました。

本市におきましては、7月、8月ごろまでに、彦根市はどのとも合併しないのか、あるいは必要とするのかなどの議論を深めるとともに、住民意向調査において、なぜ「望ましくない」などのご回答が多かったのかなどについてもお聞きして、市民の皆様のお考えがどこにあるのかを把握させていただきたいと考えています。

そうしたなかで、市町合併への一定の方法を見出した後、市議会とも協議をさせていただきながら、合併協議会に本市の考え方を報告し、対応してまいりたいと考えておりますので、今後とも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。